平成 30 年12月23日

研修報告書

氏名：佐伯　有祐

所属：札幌医科大学付属病院

研修期間：平成30年11月5日　～　平成30年11月9日

研修場所：札幌医科大学医学部　遺伝医学教室

研修内容：

1週間のスケジュール

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| am 小児遺伝外来 | am 遺伝医学講義 | am 輪読会 | am 小児遺伝外来 | am 統合データベース講習会 |
|  | 　　遺伝カウンセリング講義 |  |  |  |
| pm 遺伝子解析実習 | pm ロールプレイ実習 | pm 小児科神経Gp回診 | pm 小児遺伝外来先天性難聴講義 | pm 統合データベース講習会 |
| 　 | 皮膚遺伝病講義 | 　北大にて講義 | 家族性腫瘍講義 |  |

研修成果：

今回の研修は1週間という短い時間ではあったが、綿密にカリキュラムを組んでくださり、非常に意義深い研修であった。

小児遺伝外来に陪席させていただいたが、遺伝カウンセリングで受診されて以降、継続してフォローされている方が多くおられる印象であった。疾患にもよるかもしれないが、とりわけ難病の患児あるいは小児科フォローとなっている成人の患者は受診する診療科も多岐に渡っている。提供できる医療の質としては医療の細分化がメリットとなる場合もある反面、それらの診療を俯瞰してみたり、ご家族の心のよりどころとなる場所は必要と思われる。

遺伝外来ではそのような点に配慮をされ、患者との継続的な関りを重視しご家族から主治医への信頼も厚い様子であった。また遠隔地から来られている患者も多く、札幌とは規模も人口も違う鳥取も比較的似た環境であり、勉強になった。

学生実習への参加では、患者家族からの学生に向けたお話があり、実体験からくる話に学生も非常に集中して話を聞いており、とてもよい試みであると思われた。

その他、皮膚科、耳鼻科の先生の遺伝性疾患についての講義、および櫻井教授からの家族性腫瘍の講義をしていただいた。

遺伝性疾患およびゲノム医療に関しての知識は今後ますますその重要性は増しており、遺伝医学を専門領域とする人材育成は急務であることはもちろんだが、NIPTやがんゲノムなどの需要に十分に応えるためには遺伝医療を専門領域としない医療者のベースラインの引き上げも同時に急務であると感じた。

統合データベース講習会では、自分の知らないたくさんのデータベースが紹介されており、とても覚えきれるものではなかった。日常診療や研究の中で繰り返し使い、何ができるのかを見極めていく必要があると思われた。

その他（感想・要望・反省点、等）：

櫻井教授をはじめ遺伝医学教室のスタッフの方々には大変よくしていただきました。

感謝を申し上げます。